

第44巻 第4号 予告

特集「放射線の利用と防護」

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1. 理学・工学分野における放射線の利用 (仮題) | 木村重彦 |
| 2. 医学・薬学分野における放射線の利用 (仮題) | 飯沼 武 |
| 3. 農学・生物学分野における放射線の利用 (仮題) | 出雲義朗 |
| 4. 放射線の防護 (仮題) | 稲葉次郎 |
| 5. 放射線の管理 (仮題) | 加藤 朗 |

「公衆衛生研究」特集既刊一覧

40/1 (1991. 3) 保健所はいま	43/1 (1994. 3) 21世紀のファミリー・ヘルスの模索	— 国際家族年から考える —
2 (1991. 6) 廃棄物処理		
3 (1991. 9) 住まいと健康		
4 (1991.12) 国際保健協力の充実化に向けて	2 (1994. 6) 地域保健と保健婦活動	
41/1 (1992. 3) 大都会の高齢者	3 (1994. 9) 地域保健医療の政策的動向	
2 (1992. 6) 受動喫煙	4 (1994.12) 医薬品の品質, 有効性, 安全性の確保	
3 (1992. 9) 環境問題を点検する		
4 (1992.12) 地方衛生研究所はいま	44/1 (1995. 3) 東アジア, 西太平洋地域の環境問題	
42/1 (1993. 3) エイズ対策		
2 (1993. 6) 食品の安全性	2 (1995. 6) 公衆衛生情報ネットワーク・システムの構築をめざして	
3 (1993. 9) ストレスと健康	3 (1995. 9) 阪神・淡路大震災と地域保健	
4 (1993.12) 水道水		

編 集 後 記

久しぶりにこの欄を担当した。前号の古市院長の巻頭言にもあるように、公衆衛生院は再編と移転計画の真っ最中。本誌も数年後にどんな運命を辿っているかは、まだ我々にも分からないが、公衆衛生の第一線で活動する人たちの実践に役立つよう、もっと充実させたい気持ちは編集者一同変わらず。

今回は「阪神・淡路大震災」で、災害救援における保健所の活動に焦点を合わせて特集した。座談会に出席した人たちの話を聞くだけで、保健所職員が現場で様々な工夫をこらしていたことがよくわかった。

最近の本誌には地域の第一線の人たちの投稿も徐々に増えてきている。うれしい傾向で、地域の保健活動の変化を今後も是非知らせてほしい。

上畑鐵之丞 (編集委員長・附属図書館)